

防医教事第52号
令和8年2月16日

各国立大学法人医科大学長
各公立大学法人医科大学長
各私立医科大学長
各国立大学法人大学医学部長 殿
各公立大学法人大学医学部長
各私立大学医学部長
関係機関の長

防衛医科大学校長
(公印省略)

防衛医科大学校病院外傷・熱傷・事態対処医療センター教授（副センター長）
候補者の推薦について（依頼）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、防衛医科大学校では、病院外傷・熱傷・事態対処医療センター教授（副センター長）候補者を下記により募集いたします。

本校は、医師である幹部自衛官、保健師・看護師である幹部自衛官及び技官となるべき者を養成し、それらの者に対して自衛隊の任務遂行に必要な医学・看護学についての高度の理論、応用についての知識と、これらに関する研究能力を習得させ、併せて治療にかかわる臨床研修及び研究を行うことを目的として設立されています。

ご多用のところ恐縮に存じますが、貴管下職員に適任者がおられましたらご推薦を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 講座等名及び職名
防衛医科大学校病院外傷・熱傷・事態対処医療センター教授（副センター長）
- 2 人員
1名
- 3 応募資格
次の全てに該当し、かつ本大学校における教育研究上の能力があると認められる医師（応募資格の保有時期は、「9 応募期限」といたします）
 - (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）を有すること。
 - (2) 大学（もしくは大学に準ずる機関）において教授、准教授又は講師としての教育歴を有すること。

- (3) 本校の設立目的を理解し、教育、診療、研究、その他の業務を実施するにあたり以下の能力を持ち、医官、看護官及び技官等の養成に尽力できること。
- ア 外傷・熱傷・事態対処医療センターの診療全般を統括し、病院内外関係部署とのコーディネートを担当するとともに、事態発生時等においてセンター長不在時の代行ができる。
 - イ 事態対処時の医療を見据えた医療態勢の構築・強化を図り、そのための教育訓練を主導できる。
 - ウ 事態対処医療能力の高い米軍等と緊密に連携し、事態対処医療に関する最新の知見を国内外から得るなどすることで、外傷・熱傷・事態対処医療センターの態勢強化を行うことができる。
- (4) 外傷・熱傷・事態対処医療についての臨床教育に熱意をもって取り組み、その成果を自衛隊医療に反映し、戦傷医療対処能力の向上に資することができること。
- (5) 外傷・熱傷・事態対処医療に関連する基本領域の専門医資格を有すること。
- (6) 外傷・熱傷・事態対処医療に関連する基本領域の指導医資格を有すること。
- (7) 外傷・熱傷・事態対処医療に関連する分野の授業が担当できる教育診療研究上の業績を有すること。

ただし、次のいずれかに該当する者は、応募できません。

- ア 日本の国籍を有しない者
 - イ 平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている者（心神耗弱を原因とするもの以外）
 - ウ 拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者
 - エ 法令の規定による懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
 - オ 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者
 - カ 採用予定時期までに自衛隊法第44条の6に定める定年に達する者
- ※本校ではハラスメント防止に関する取り組みを強化しているため、それらの問題解決に深い理解を有する方を望みます。

4 処遇

(1) 身分

特別職国家公務員（防衛省職員）

(2) 給与・諸手当

採用時の俸給月額（基本給）は、一般職の職員の給与に関する法律（昭和25年法律第95号）等に基づき、採用後に従事する職務及び採用者の職務経歴等を考慮して決定します。

なお、この選考により採用された場合の給与等級は、教（一）4級で、採用後の勤務成績に応じて昇格（給与等級が上がる）及び昇給（年1回）等があります。

その他諸手当として、期末・勤勉手当、通勤手当、扶養手当等が支給されません。

- (3) 勤務時間等
週休2日制を実施しています。また、年次休暇のほか、年末年始の特別休暇等があります。
- (4) その他
自衛隊法第44条の6の規定に基づき定年制が適用されます。

5 採用予定年月日
令和8年10月1日(木) (予定)

6 選考実施場所及び時期
防衛医科大学校、日時については応募者に別途連絡

7 選考方法
書類選考のうえ、面接等を実施します。

8 提出書類

- | | |
|---------------------------------------------------------|------|
| (1) 推薦書 | 1通以上 |
| (2) 履歴書 | 1通 |
| (3) 業績目録(主要論文10編程度については抜粋し、その概要も記載して下さい。) | 1通 |
| (4) 研究業績等目録 | 1通 |
| (5) 論文別刷5編以内×5部 | 1式 |
| (6) 職務調書 | 1通 |
| (7) 防衛省職員採用試験申込書 | 1通 |
| (8) 健康診断書 | 1通 |
| (9) 学位記の写し | 1通 |
| (10) 医師免許証の写し | 1通 |
| (11) 有している専門医資格の認定証の写し | 各1通 |
| (12) 卒業証明書・修了証明書 | 各1通 |
| (13) 外傷・熱傷・事態対処医療センター教授候補者としての立候補に当たっての抱負(1600字以内にまとめる) | 1通 |

※1 (1) 推薦書、(2) 履歴書、(3) 業績目録、(4) 研究業績等目録、(5) 職務調書、(6) 防衛省職員採用試験申込書は、本校ホームページ「採用案内」の教授・准教授・講師・助教候補者用提出書類からダウンロードできます。
防衛医科大学校「採用案内」ホームページアドレス

(https://www.ndmc.ac.jp/sh_recruit00/sh_recruit_saiyouannnai_gakkou/)

※2 健康診断書の項目には、問診、身体的検査(視診、触診、聴診、打診)、視力、聴力、エックス線、血圧、尿検査を含んでください。

9 応募期限

令和8年4月20日（月）（必着）

10 その他

- （1）送付いただいた書類は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- （2）選考の過程において、ご来校を願うことがありますので、ご承知おき下さい。

11 提出先

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3丁目2番地
防衛医科大学校医学教育研修センター事務部 総務係 宛
（「教官応募書類在中」と朱書きしてください）

12 問い合わせ先

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3丁目2番地
防衛医科大学校医学教育研修センター事務部 総務係
TEL 04-2995-1407